

# 台風第10号に関する避難の状況について

資料－7

台風第10号が九州西側を通過後(9月9日)に、菊池川流域10市町を対象に避難に関するアンケート調査を実施し、10市町より回答を得た。

## ◆避難勧告・指示の発令状況

8市町で85,756世帯195,814人を対象に避難勧告が発令

1市で2,538世帯5,802人を対象に避難指示が発令(2市町は自主避難)\*

・有明海沿岸自治体については、全域において避難勧告が発令された。

## ◆避難所の状況

10市町で99施設で避難所が開設され、延べ10,501人が避難\*

・99施設中14施設(14%)は、コロナ対策を考慮した収容可能人数以上となることが想定されたため、別の避難所を案内

・99施設中22施設(22%)については、最終的にコロナ対策を考慮した収容可能人数以上の方を収容(当初避難スペースとして予定していた以外のスペースを開放するなどして対応)

## ◆課題

9市町において課題があったとの回答(1市は課題無し)

【主な課題】

- ・コロナ対策に時間と人を要し、急な災害時にはスムーズな受け入れが困難。
- ・避難者が殺到したため職員の対応が間に合わなかった。
- ・一部施設では収容予定人数を超えてしまった。報道機関、各関係機関は分散避難の周知をお願いしたい。
- ・間仕切りやパーテーション、簡易ベットなどコロナ対策に必要な備品がすべてに配備できない
- ・体育館には、空調が設置されていない場合が多く、避難者の健康管理のために対策が必要である。(一部は体育館の代わりに教室を開放)
- ・ペットの受け入れ体制を確保することが困難。

※熊本市は菊池川流域の2校区に絞って集計